



# 町並み飛騨高山

17号

町並み保存の防火対策を学ぶ視察研修

## - 熊川宿と東山ひがしを訪ねて -

高山市景観町並保存連合会では、他地域の先進的な町並み保存事例（防火対策や歴史的建造物の活用、住民活動など）を学び、高山市の伝統的建造物群保存地区や景観保存区域の維持・向上に活かすことを目的として、長年にわたり視察研修を実施しています。

地域間交流を通じて保存活動の具体的なヒントを得るとともに、会員相互の親睦を深め、伝統的文化を次世代へ継承していくうえでも大変有意義な取り組みとなっています。

日時：令和7年11月20日（木）～21日（金）

場所：若狭町熊川宿伝統的建造物群保存地区（福井県）  
金沢市東山ひがし伝統的建造物群保存地区（石川県）ほか

目的：伝統的建造物群保存地区（伝建地区）は木造建築が多く、火災に弱いという特性があります。高山市では防火対策として、近隣の5～8軒を連動させたグループ監視型の自動火災報知設備を導入しています。

しかし設置から10年以上が経過し、機器の劣化による故障や製造中止による更新不可などの課題が生じています。そこで、今後の導入に適した方法を検討するため、他地域の取り組みを参考にすることを目的として視察研修を実施しました。

### ▶ 若狭町熊川宿（わかさちょう くまがわじゅく）

熊川宿では、電池式の無線連動型火災警報器を導入し、近隣の住宅同士が連動して火災を知らせる「相互監視型」の防火体制を整えています。

隣家や向かいの家など二方向の住宅に警報器を設置し、周囲の建物でも異常を感知できる仕組みとなっており、空き家についても同様に対応しています。

また、地区では年1回の自主防災訓練を実施し、警報器や消防設備の点検、地区防災組織の体制確認などを行うなど、防火体制の維持にも取り組んでいます。



写真⑩ 【若狭町】火災警報器の取扱い説明

皆様からの「地域や町並み」に関する身近なニュースや、ご意見、ご要望など、各保存会会長様までお寄せください

### ▶ 金沢市東山ひがし（かなざわし ひがしやまひがし）



写真⑨ 【金沢市】東山ひがしの町並み

東山ひがし地区では、無線連動用火災警報器を各住宅の玄関付近に設置し、住宅内外に火災情報を知らせる「戸別管理型」の方式を採用しています。玄関付近に設置することで、建物の外からも警報を確認できるよう配慮されています。

また、機器の選定にあたってはスマートフォン連動型なども検討されましたが、地区住民の意見を踏まえ、操作が簡単で扱いやすい機器が採用されています。空き家や店舗など建物内部に立ち入ることが難しい場合は、警報を確認した発見者が消防へ通報する体制としています。

### ▶ 町並み保存地区の防火の取り組み

伝統的建造物群保存地区における防火の取り組みについて理解を深めることができました。

町並みを守りながら安全な暮らしを維持していくためには、地域の実情に応じた防火体制づくりが重要であることを改めて認識しました。

今回得られた知見を、今後の高山市の町並み保存活動に活かしていきたいと考えています。



写真⑧ 【金沢市】講義・意見交換

### ▶ 視察を通して感じたこと（参加者アンケートより）

今回の視察では、宿場町の面影を残す静かな熊川宿と、多くの観光客でにぎわう金沢市東山ひがしという、対照的な特徴を持つ町並みを訪ねました。

参加者からは、それぞれの町の歴史や地域の取り組みに触れ、町並み保存のあり方は地域の状況によって大きく異なることを実感したという声が多く寄せられました。高山の町並みもまた、地域に暮らす人々の生活や祭りの文化とともに受け継がれてきたことが大きな特徴であり、町並みを守りながら地域の魅力を活かしていくことの大切さを改めて感じる研修となりました。

高山市景観町並保存連合会  
公式SNS



今回のアンケートや部会での意見交換を通して、町並みに対するさまざまな思いや課題が見えてきました。地域の皆さんが日々の暮らしの中で町並みを大切にされていることを改めて感じました。町並み保存は特別なことではなく、この場所ですら一人ひとりの営みの積み重ねなのかもしれません。これからも、この町の景観と暮らしを大切にしていきたいと思えます。

編集後記

お寄せいただきましたご意見などは、編集して本誌等でご紹介させていただきます